



欉 KEYAKI

第4号
2019. 6. 3
発行

中間テストが終わりました！

今年度初めての中間テストが先週終わりました。1年生にとっては初めての定期考査で、不安や緊張の中でのテスト受験となったことでしょう。

テスト1週間前の放課後には、各教科の質問教室が用意され、また、情報学習センターでは自習室も用意され、多くの生徒がテスト勉強に励んでいました。テストに向けて意欲的にとりくむ姿勢がいたるところで見られ、たいへんうれしく思いました。

2, 3年生には昨年度の通信でも書きましたが、中間テストが終わり、ホッとしているところだとは思いますが、テストが終わった直後、まさしく「今」がとても大事なのです。たぶん担任の先生や教科の先生も言われていることと思いますが、テストが返されたら、点数を見て終わってはいけません。一番気になるのは点数だとは思いますが、テスト返しでの先生の解説をしっかり聞き、間違った問題について、「なぜ間違ったのか」の原因を自分なりに振り返り、そして間違った問題を家で再度解いてみるなどをすることがとても大事なのです。間違った直後に正しいことを頭にインプットする。これが一番定着します。この作業をするのとしないのとでは雲泥の差です。次のテストに、いや明日からの授業につなげるためにも、必ず振り返りと間違い問題のやり直しをしてほしいと思います。



テスト勉強に励む1年生



勉強の合間にはじける能勢中生

能勢高校・豊中高校能勢分校体育祭

5月31日(金)に、能勢高校(豊中高校能勢分校)の体育祭が開催されました。お天気が心配されましたが、予定より早めのスタートで、生徒達も協力してきばきと準備をし、演技を進めていったので、プログラムはスムーズに消化されていきました。



印象に残ったのは、生徒たちの楽しそうな表情です。どの生徒も体育祭を楽しんでいるように見えました。つまらなそうにしている生徒は一人も見当たりませんでした。これはきっと体育祭当日だけでなく、日々の学校生活が充実しているからだろうと感じました。他の高校に比べ人数はやや少なめですが、充実度はかなり高いように感じます。本校とは連携型中高一貫教育校である能勢高校・豊中高校能勢分校は、身近で、生徒が確実に力を伸ばせる学校だと思います。これから能勢高校・豊中高校能勢分校の体験授業や交流活動を計画していますが、地元の高校の魅力を肌で感じてもらいたいと考えています。



週末は小学校の運動会です

小学校の運動会が、いよいよ今週土曜日の8日に迫ってきました。小学生はこの1週間は最後の追い込みで、毎日一生懸命に練習に励みます。



中学校の中間テストのときには、「廊下で大声を出さない」であるとか、「休憩時間に騒がないように気をつける」など、小学生がかなり協力してくれました。今度は中学生が協力する番ですね。この1週間はグラウンド等で授業中に小学生の演技の音楽の音や声が響くこともあると思いますが、小学校の運動会が素晴らしい大会になるように、中学生も協力しましょう！



教育実習が始まります

本日より、教育実習が始まりました。実習の期間は、6月21日(金)までの3週間です。実習生を紹介します。

田尻 彩乃(たじり あやの)先生

能勢町立西中学校の出身で、現在、京都市立芸術大学の4回生です。主に全学年の音楽の授業を担当し、クラスは3年B組に入ります。

